

第15回住吉病診連携カンファレンスレポート

会期：平成27年8月29日（土） 18時～20時

会場：スイスホテル南海大阪 8階「白鳥」

上記次第にて「第15回 住吉病診連携カンファレンス」が開催されました。

地域の開業医の先生方、医療機関の方々、阪和住吉総合病院と阪和記念病院医師や錦秀会グループ関係者等、総勢67名の出席となりました。

阪和住吉総合病院より2題、阪和記念病院より2題の発表を行い、地域の先生方からのご質問や、カンファレンス後のアンケートで貴重なご意見をたくさんいただきました。今後も、病診・病病連携をより密接にするため努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。ご参加いただき、誠にありがとうございました。

●開会の辞／阪和記念病院 院長 藤田 敏晃



●講演1 座長／阪和記念病院 脳卒中センター長・脳神経外科部長 西野 鏡雄

『当院における神経内視鏡の使用経験』 阪和記念病院 脳神経外科医長 森 康輔



●講演2 座長／阪和住吉総合病院 副院長・消化器センター長 金井 陸行

『本当は怖い膵嚢胞性疾患』 阪和住吉総合病院 消化器センター 田中 恒行



●講演3 座長／阪和記念病院 心臓血管センター副部長 佐々木 英之

『経皮的動脈弁形成術の可能性』 阪和記念病院 心臓血管センター医長 木田 公裕



●講演4 座長／阪和住吉総合病院 副院長 高見 勝次

『当院における骨折治療～ガイドラインを中心に～』 阪和住吉総合病院 整形外科部長 中田 昭



●閉会の辞／阪和住吉総合病院 院長 板橋 司



[会場の様子]

